

柏市立手賀西小学校

令和4年度研究主題

未来社会を切り拓く「つくる力」を高める授業
～ 一人一台端末を活用した共創活動を通して ～

研究主題における GIGA 端末活用の位置づけ

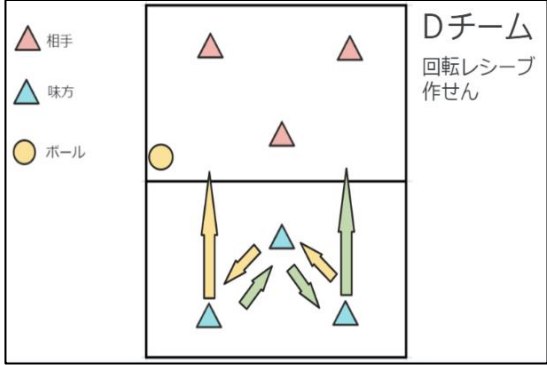
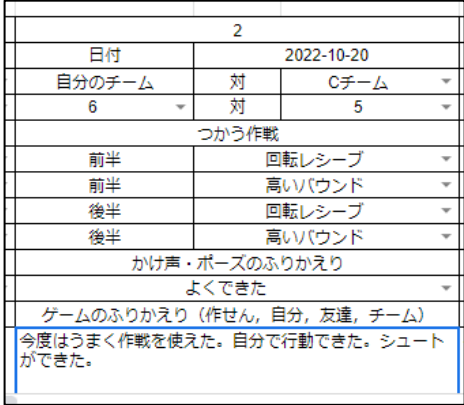
各教科において、一人一台端末を活用した手立てや実践を創造し、効果を検証する。

1 研究の概要

時期	内容	項目
4月	年間計画と方向性の確認	研修
5月	目指す児童像の具体的な姿の指標作成 教科部会において、研究の方向性の確認	研修 研修
6月	教材研究 教科部会（実践交流，指導案検討）	研修 研修
7月	第1回授業研究会（1年生活） 第2回授業研究会（3年図工） GIGA 実践の記録	授業 授業 研修
8月	手賀マップ大作戦（児童それぞれが自宅周辺のおすすめスポットを取材し，まとめて全校のクラスルームに発信） Hylable ディスカッション研修	授業 研修
9月	Hylable ディスカッション活用開始 教科部会 第3回授業研究会（2年算数） 教科部会（実践交流，指導案検討）	授業 研修 授業 研修
10月	教科部会 第4回授業研究会（3年体育） AR 活用開始（6年生） GIGA 実践の記録入力	研修 授業 授業 研修

	第5回授業研究会（6年理科）	授業
11月	教科部会 第6回授業研究会（4年国語） GIGA 実践の記録入力	研修 授業 研修
12月	「Net モラル」の全学年一斉活用開始（授業・家庭学習） GIGA 実践の記録入力	授業 研修
1月	図工研修 GIGA 実践の記録入力 第7回授業研究会（5年社会・特別支援学級） 研究のまとめ・来年度の検討①	研修 研修 授業 研修
2月	第8回授業研究会（3年音楽） 研究のまとめ・来年度の検討② 研究紀要印刷 GIGA 実践入力・とりまとめ	授業 研修 研修 研修
3月	『手賀西 DX 事例集』完成・発注・発送 研究のまとめ，次年度に向けての準備	研修 研修

2 おすすめの活用

学年 3学年	教科 体育	
単元 プレルボール		
活用の概要（◆1人1台端末活用の場面） ◆チームで話し合っ作戦を立て、Jamboardの作戦ボードに記録する。 ・プレルボールの試合を行う（前半） ◆Jamboardの作戦ボードを活用して、作戦を見直す。 ・プレルボールの試合を行う。（後半） ◆試合をふり返り、作戦の有用性や改善点をふり返りシートに記入する。		
活用場面	活用場面① チームで作戦を話し合い、Jamboardの作戦ボードに記録する。	活用場面② 試合後、ふり返りシートに作戦の有用性や改善点を記入する。
活用したアプリ等	Jamboard	スプレッドシート
写真		
1人1台端末を活用するメリット等	<ul style="list-style-type: none"> ・作戦を視覚的にとらえ、理解することができる。 ・記録した作戦は蓄積できるので、どの作戦で試合をするか、いくつかの作戦を比べながらチームで話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日付、試合の結果、作戦の選択欄などをプルダウンにしたことで、容易にふり返りをする事ができた。

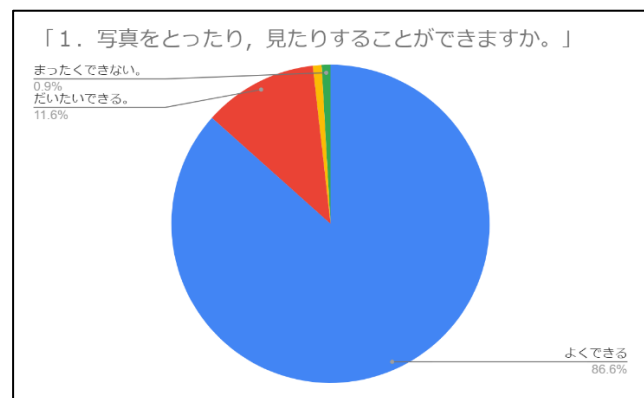
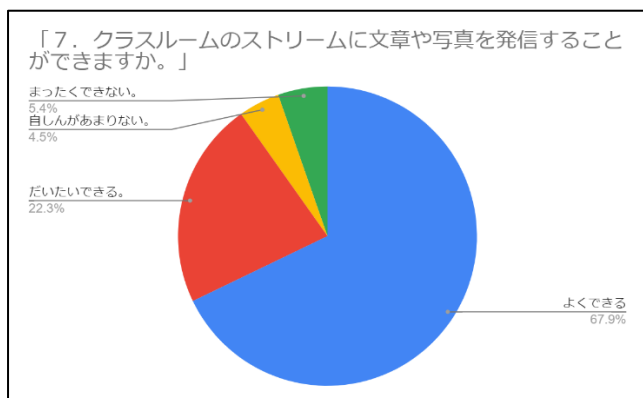
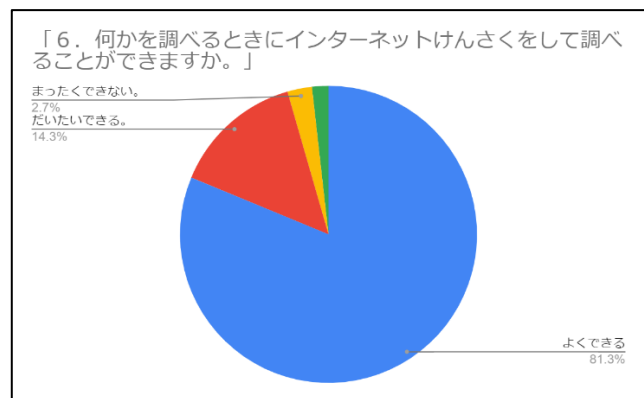
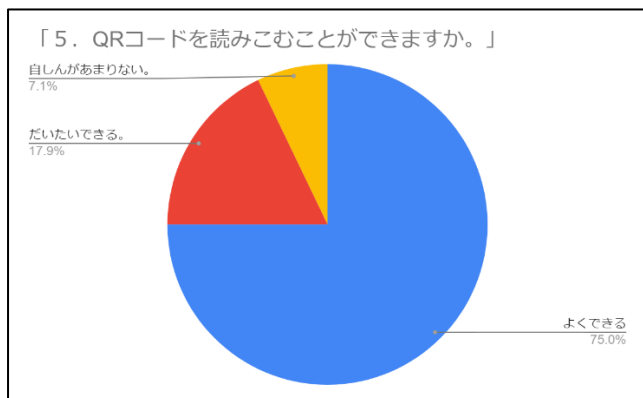
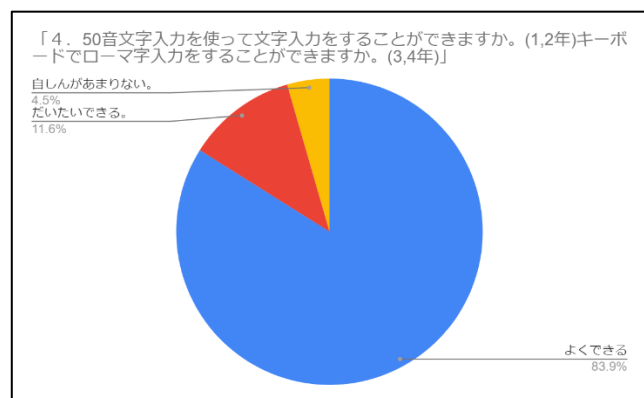
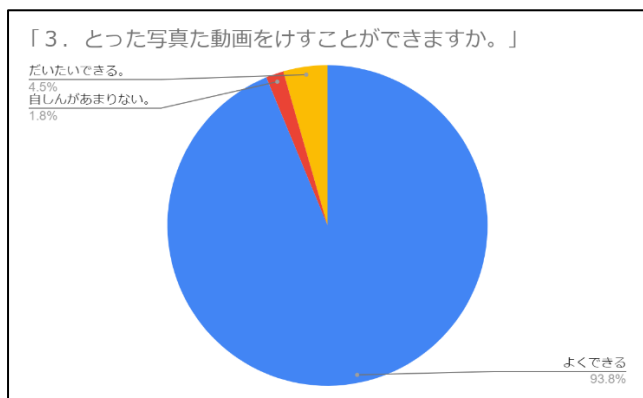
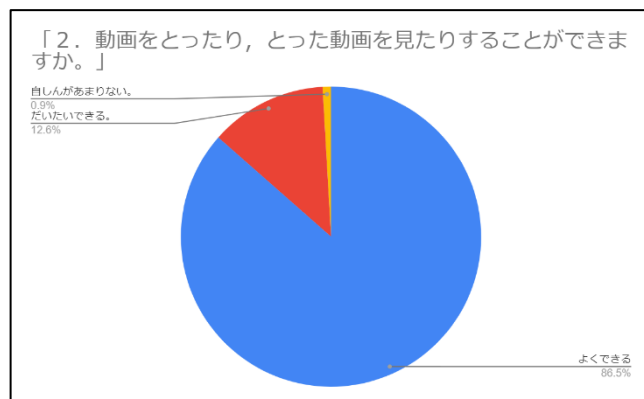
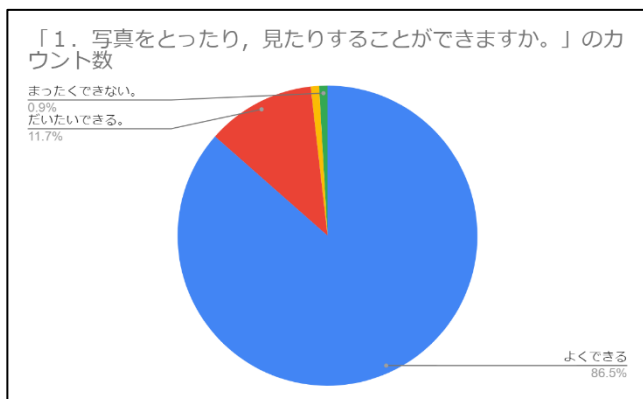
3 運用上の工夫

時期		内容	項目
年度初め			
1 学 期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・端末使用についてのルールを確認 ・1年生 iPad 配付・活用開始（4月下旬） 	ルール
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生 iPad 持ちかえり開始 	持ち帰 り
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業期間には全校児童が持ち帰りをを行う。端末を使用する課題を出す。（思い出日記，スマイルネクストドリルなど） 	
2 学 期	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童にネットモラル動画視聴カードを配付し，家庭学習での視聴を開始。 ・冬季休業期間は全校児童が持ち帰りをを行い，ネットモラル動画視聴の課題を学年に応じて出す。 	情報 モラル 情報 モラル
		<ul style="list-style-type: none"> ・全端末，電源アダプターを学校で回収し，台数確認を行う。（2月末） ・端末及びドライブにある必要なデータをファイルにデータ移行する。 ・6年生は卒業式前日に端末及び電源アダプターを学校で回収する。 ・在校生は修了式前日に端末及び電源アダプターを学校で回収する。 ・クラスルーム及び共有ドライブを作成した教師は両方とも削除する。 	
3 学 期	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・全端末，電源アダプターを学校で回収し，台数確認を行う。（2月末） ・端末及びドライブにある必要なデータをファイルにデータ移行する。 ・6年生は卒業式前日に端末及び電源アダプターを学校で回収する。 ・在校生は修了式前日に端末及び電源アダプターを学校で回収する。 ・クラスルーム及び共有ドライブを作成した教師は両方とも削除する。 	
	3月		

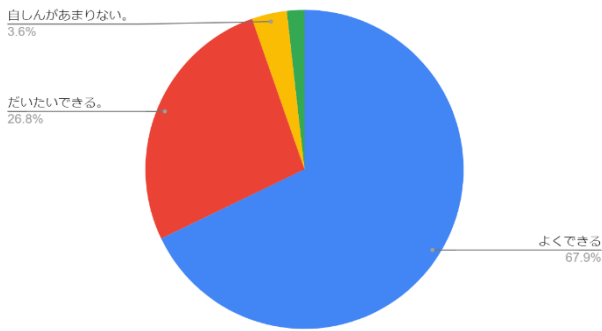
4 成果と課題

アンケート結果（柏市情報リテラシーR3年3月版と関連）

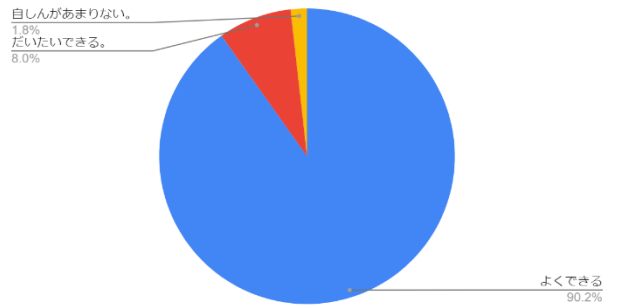
【全学年】



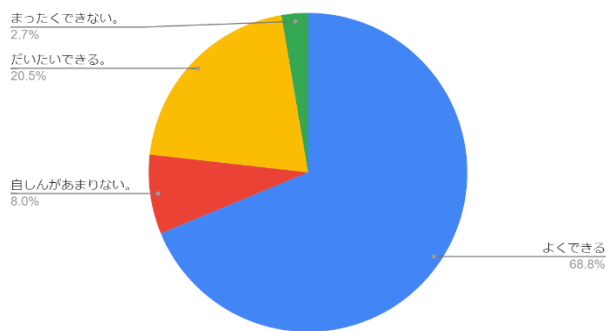
「9. ジャムボードで写真を入れることができますか。」



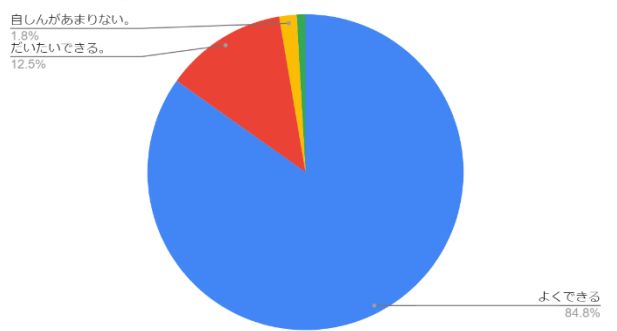
「10. ジャムボードで付箋に文字を書いて入れることができますか。」



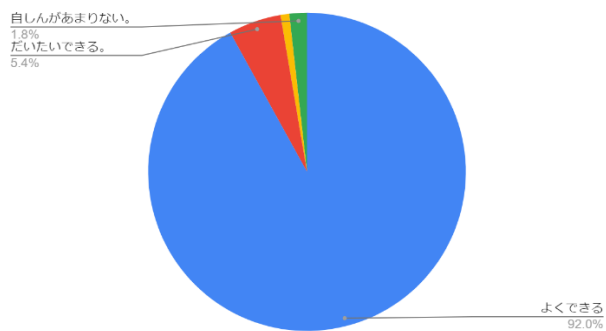
「11. ジャムボードで図形を入れることができますか。」



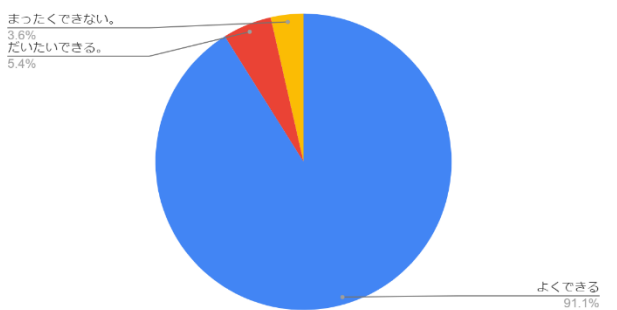
「12. 授業でジャムボードを使うことことができますか。」



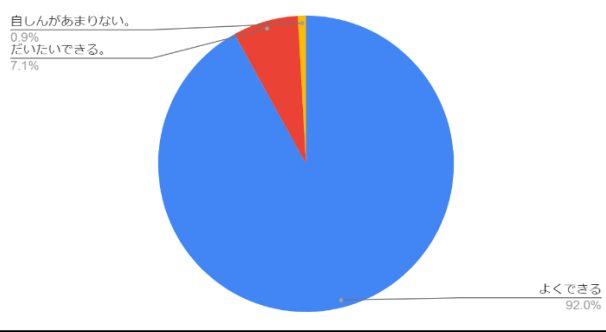
「13. ミートに参加することができますか。」



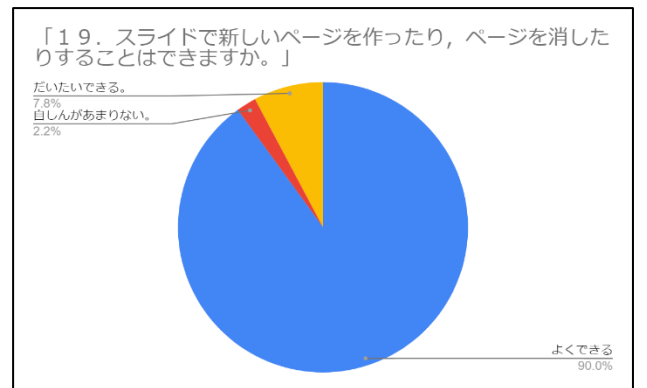
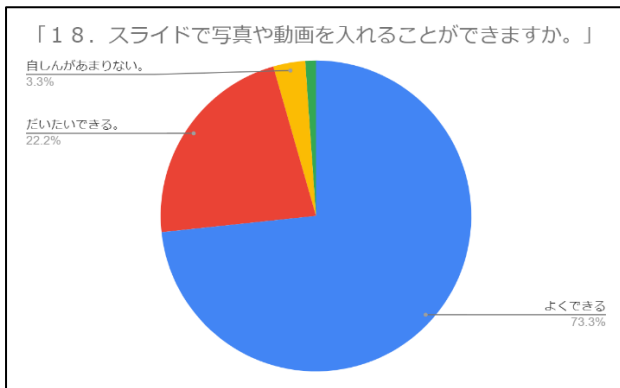
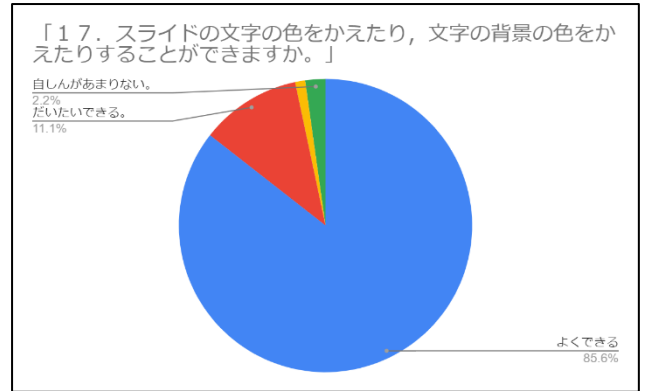
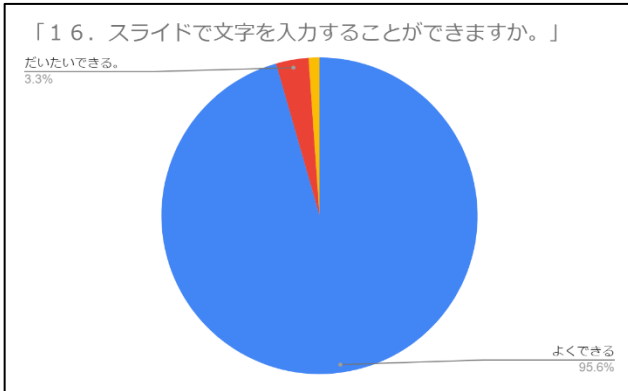
「14. ミートでマイクや画面のオン・オフをすることができますか。」



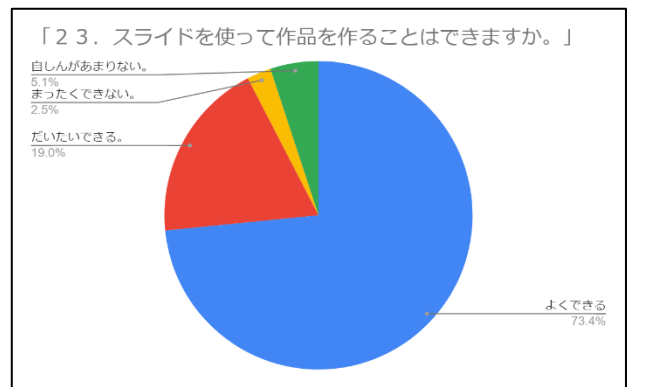
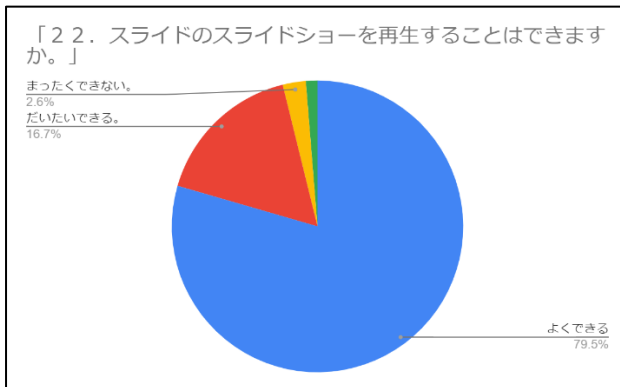
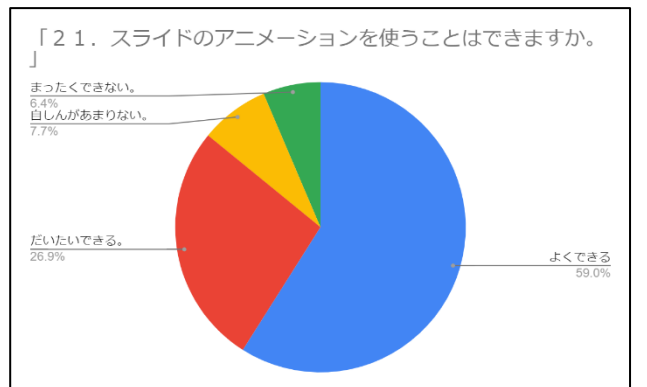
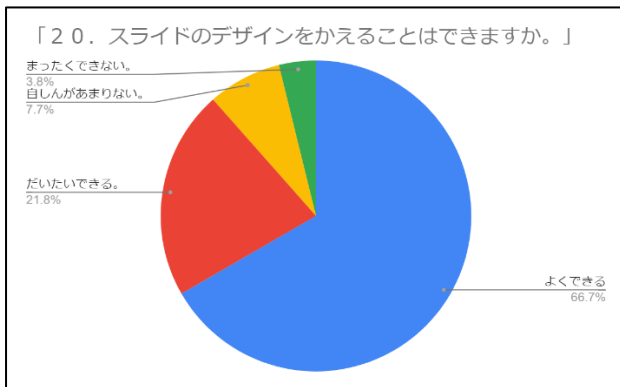
「15. 端末におくられてきたアンケートに答えることができますか。」



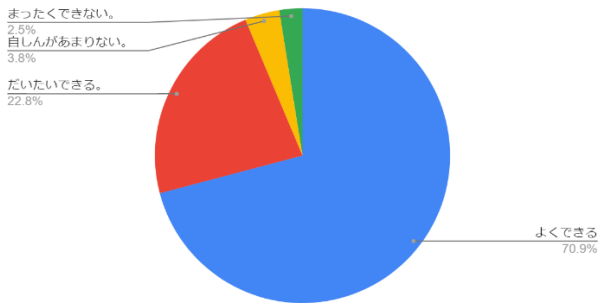
【2 学年～6 学年】



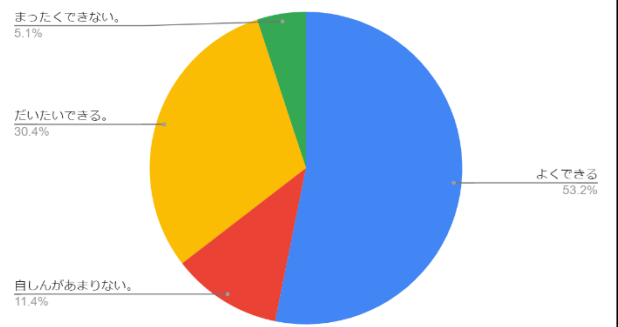
【3 学年～6 学年】



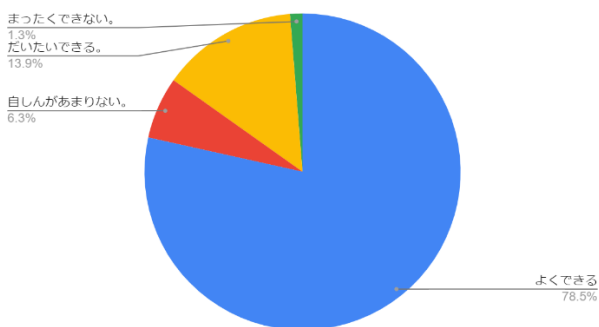
「24. 授業でインターネットを使って調べた文章や画像を、スライドにまとめることはできますか。」



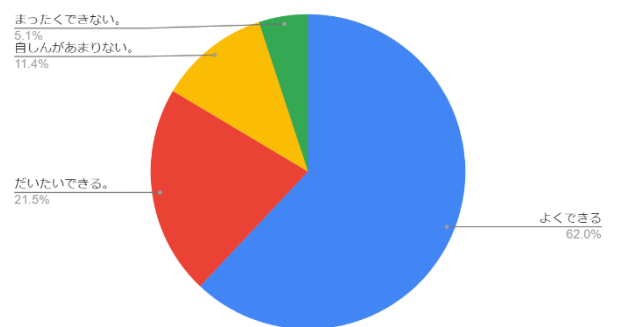
「25. ショートカットキーを使うことはできますか。」



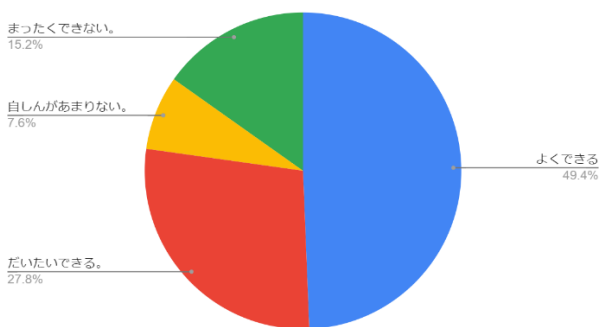
「26. スクリーンショットはできますか。」



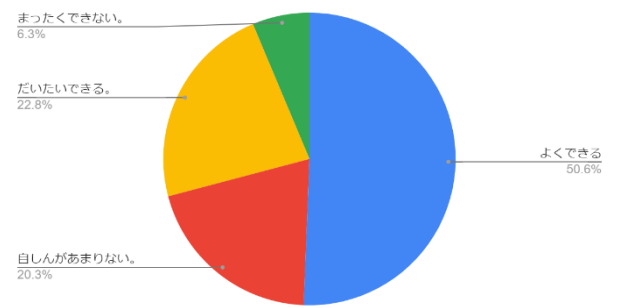
「27. ミートで画面を共有することはできますか。」



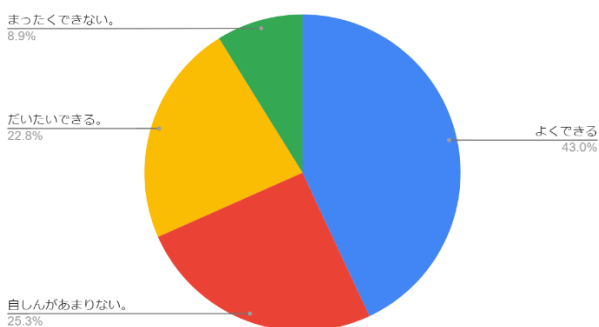
「28. アンケート（フォーム）を作ることはできますか。」



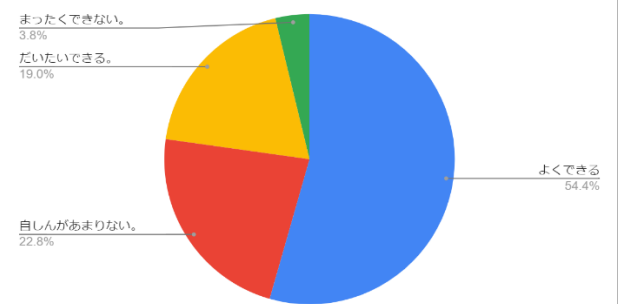
「29. ドキュメントで文字の配置を変えることはできますか。」

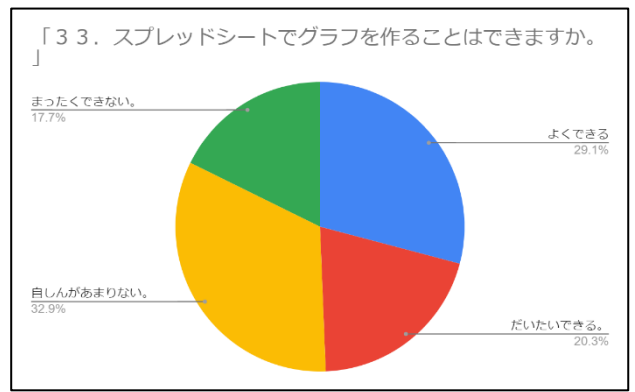
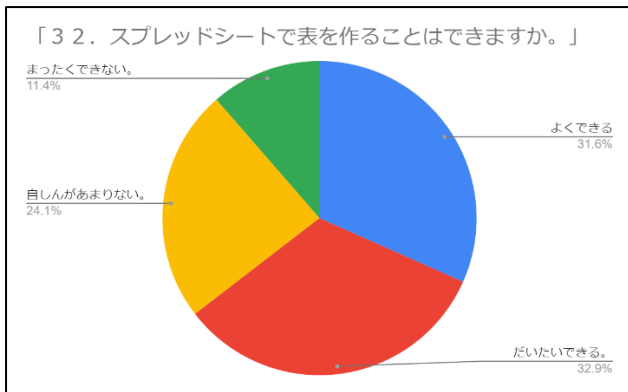


「30. ドキュメントで表や図を入れることはできますか。」

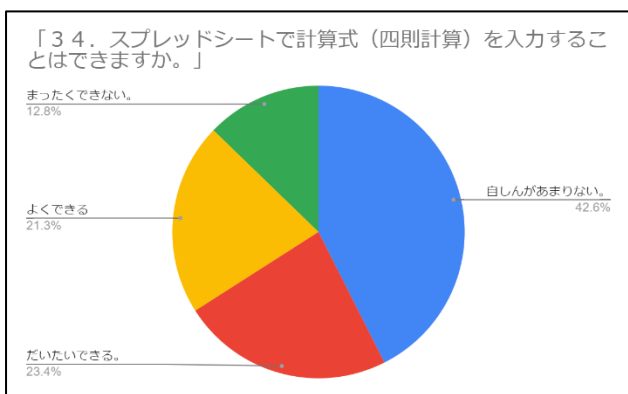


「31. スプレッドシートのセルに、文字を書いたり消したりすることはできますか。」

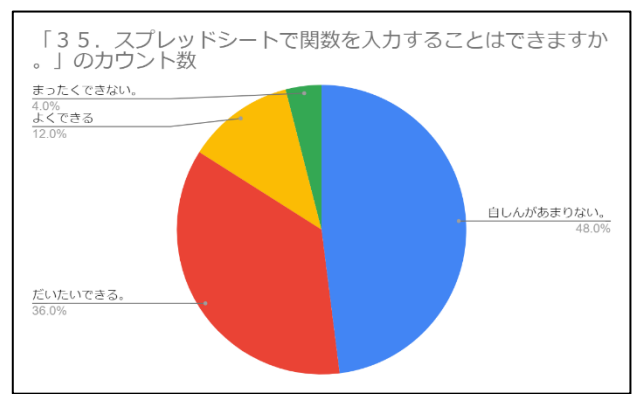




【5学年, 6学年】



【6学年】



【成果】

- 柏市学力学習状況調査の ICT 活用に関わる意識調査において、柏市平均と比べ、顕著な成果が見られた。
- 児童のアンケート結果からも分かるように、柏市情報リテラシーR3年3月版 Step 1のスキルを概ね習得することができた。
- 昨年度の課題だった、スライドを活用しての学習のまとめ、表現を今年度は意識して行ったことで、「デザイン変更」や「アニメーション活用」の技能の習得をすることができた。
- 紙のノートから端末をノート（スライド・ドキュメントを活用）として、授業の内容を蓄積する児童が多くなった。
- 委員会やクラブ活動、部活動など授業以外での活用も自発的に行うようになった。
- 校内研究での副題として、1人1台端末を活用した授業実践を2年間行ってきたことで、教師自身、情報の収集や整理分析、まとめ表現など教科の学びを深める活用実践を行うようになった。
- 教師も意図して教科横断・探求的な学びでの活用を行うようになった。

【課題】

- スプレッドシートは、高学年の算数や理科などの授業を中心に、昨年度に比べ活用できるようになったが、四則計算、関数の入力の定着がみられなかった。来年度は、四則計算、関数の入力の意図的な活用と、繰り返し実践する場面を作っていきたい。
- 子ども達の端末活用に合わせた、情報モラルの定着が必要だと感じた。(活用に合わせたモラルの定着)そのため、来年度は、年度当初から、家庭学習でネットモラル動画の視聴を行っていきたい。また、総合学習などで児童の課題にあった、情報モラルの授業を行っていきたい。
- 端末活用スキルの個人差ある。特にタイピングスピードが遅い児童は、授業活用でつまずいてしまうので、苦手な児童は、ローマ字学習やキーボードの活用を積極的に行っていきたい。また、ドキュメントを意図的に活用していきたい。

5 今後の展望

GIGA スクールが始まってこの2年間、アナログでできたことをデジタルで代用することから、デジタルの特性を活かして学習効果を向上させることを経て、授業デザインの変容へと段階を駆け上がってきた。その授業研究の過程において、教師の役割や授業観・学習観を少しずつパラダイムシフトすることができてきた。

今後は、更に学習者主体の端末活用を推し進め、個別最適な学びや協働的な学びのより充実した一体化を図っていくことを、教職員間で確認した。教科の枠に捉われず、生活や総合的な学習の時間を中心としたカリキュラム・マネジメントにより、実社会の課題解決を実現するPBL (Project Based Learning) を取り入れながら、「社会に開かれた端末活用」を目指していく。